

平成28年度 宮城県教育委員会指定 志教育支援事業（推進地区） 七ヶ宿町志教育の実践

1 志教育支援事業の趣旨

高度情報化や経済活動のグローバル化の一層の進展により、これからの社会は、これまで以上に変化の激しいものになることが見込まれる。そうした変化の中でたくましく生き抜いていけるよう、必要な知識・技能を確実に身に付けるとともに、自らの適性を適格に把握し、社会の中で自らが果たすべき自己の役割を将来にわたって展望し、その実現に向けて強い意志をもって自律的に行動できる人づくりを進めることが求められる。

そこで、小・中・高等学校の全時期を通じて、人や社会とかがかわる中で社会性や勤労観を養い、集団や社会の中で果たすべき自己の役割を考えさせながら、将来の社会人としてのよりよい生き方を主体的に求めさせていく志教育を推進し、県内各小・中・高等学校及び特別支援学校に普及する。（宮城県教育委員会「志教育支援事業実施要綱」）

2 指定期間

平成28年4月1日～平成29年3月31日（1年間）

3 七ヶ宿町の概要

七ヶ宿町は、蔵王連峰の南、宮城県南西部に位置している。町名の由来は羽州街道と奥州街道を結ぶ街道・「山中通小坂越」（山中七ヶ宿街道）沿いの仙台領内に七つの宿場（上戸沢、下戸沢、渡瀬、関、滑津、峠田、湯原）が置かれたことによる。この街道は白石川沿いに町を東西に貫いており、現在は国道113号となっている。

町内には、町立の関保育所、七ヶ宿小学校・七ヶ宿中学校と県立高等学校、私立高等学校が各1校ある。各校とも地域との関わりを大切にした教育活動を展開しており、毎年開催される町民体育大会、町学校音楽祭、町学校スキー大会は、町内すべての児童生徒が一堂に会しての交流・連携の機会となっている。小・中学校では、恵まれた自然を題材とした総合的な学習の展開や地域の方々を講師に迎えた講話なども積極的に行うなど、ふるさと七ヶ宿町を愛し、人間性豊かで、現在及び将来にわたって学ぶ喜びをもち、自他ともにたくましく『生きぬく児童生徒』の育成に努めている。

4 推進地区実践校

七ヶ宿町立七ヶ宿小学校	【児童数 40名】	七ヶ宿町字利津保16-1
七ヶ宿町立七ヶ宿中学校	【生徒数 32名】	七ヶ宿町字瀬見原1
宮城県白石高等学校七ヶ宿校	【生徒数 48名】	七ヶ宿町字沢上山4-2

5 七ヶ宿町志教育の推進目標

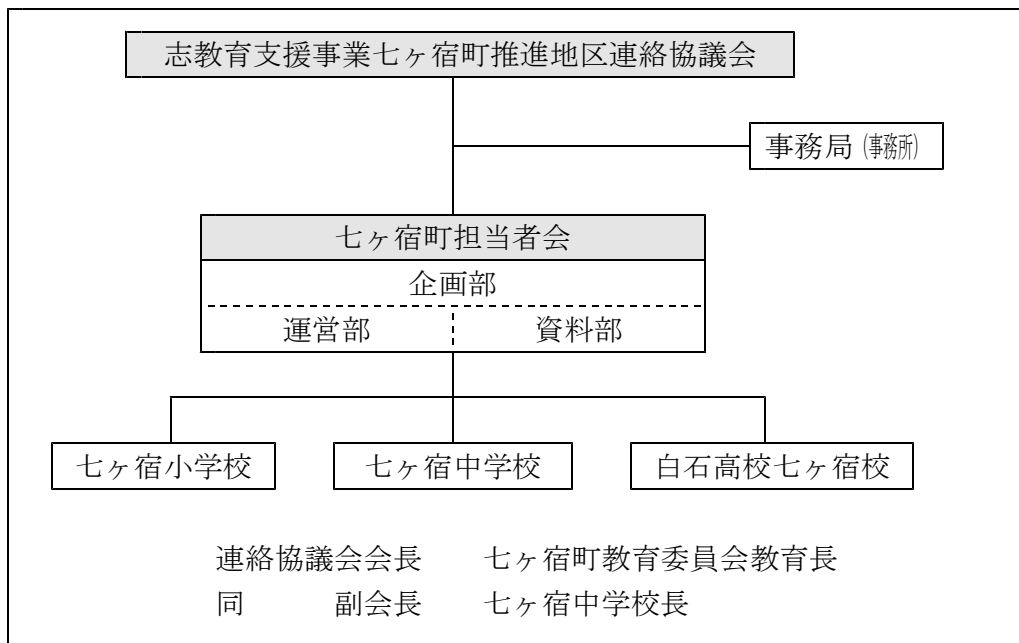
七ヶ宿町で育ち・学ぶ人間として、自主性・創造性を養い、現在及び将来にわたって、社会で果たすべき自己の役割を自覚させながら、より良い生き方を見つけ、将来を担う、自他ともにたくましく生きぬく児童生徒を育成する。

6 七ヶ宿町志教育の取組方針

- (1) 推進地区内各校での「志教育」について共通理解を深め、児童生徒に身に付けさせた力を明確にして、各校の志教育の充実・推進を図る。
- (2) 小中高等学校の交流、地域との交流、社会（行政・企業など）との交流をさらに深め、継続した連携を図れる志教育の実践を目指す。

7 七ヶ宿町の志教育支援事業

(1) 運営組織



(2) 志教育推進事業の取組

- ①各学校における「志教育」の計画に基づいて教育活動を実践する中で、「志教育全体計画」や各教育活動の計画を作成、改善、再構成をする。
- ②各校の志教育に位置づけられたの取組の情報交換を行う。
- ③実践事例発表会を実施する。
- ④事業報告書を作成する。

(3) 推進地区連絡協議会・町担当者会

- ①各校の「志教育」実践の情報交換
- ②全体計画の検討、作成に関すること及び進捗状況の確認
- ③実践事例発表会に関すること
- ④実践事例集作成に関すること
- ⑤予算等に関すること

(4) 主な経過と今後の予定

月 日	実施内容
平成28年 4月28日	第1回「志教育支援事業」推進会議に出席（県庁）
5月31日	第1回七ヶ宿町志教育推進担当者会 全体計画，取組の方向性
6月 8日	第1回七ヶ宿町推進地区連絡協議会 全体計画，取組の方向性，予算等の確認 【各校での実践，計画の見直し 等】
8月 4日	第2回「志教育支援事業」推進会議に出席（県庁）
9月 5日	第2回七ヶ宿町志教育推進担当者会 各校での取組状況に関する情報交換 実践事例集の作成について 実践発表会の開催について
9月25日	(小中高地域) 町民体育大会参加
10月25日	第2回七ヶ宿町推進地区連絡協議会 各校での取組状況に関する経過報告 実践事例集の作成について 実践発表会の開催について
10月27日	(小中高地域) 町学校音楽祭参加
12月12日	実践発表会リハーサル
12月13日	七ヶ宿町志教育実践事例発表会
平成29年 2月 9日	第3回「志教育支援事業」推進会議に出席（県庁）
2月15日	(小中高地域) 町学校スキー大会参加
2月**日	第3回七ヶ宿町推進地区連絡協議会 成果，反省，実践報告書について ※他に，必要に応じて担当者打合せを実施した。

(5) 成果と課題

各校での志教育は，地域と密接なかかわりの中で，本町児童生徒に合った豊かな体験活動や交流での活動を進めてきており，今年度も実りある教育活動が展開できました。その実践の中で，何を学ばせ感じさせたいのか，身に付けたい資質や能力，態度とはどのようなものか等について，十分な検討が行われているのかという課題も明らかになり，全体計画や年間計画の再構成も取り組んできました。また，小規模の小・中学校が1校ずつの本町では9年間を見通した内容の構成の必要性も強く感じ，来年度の各校の教育計画に生かすべく作業に入ったところです。

今後も，七ヶ宿町で育ち・学ぶ児童生徒として，他校とのかかわりや地域とのかかわりの中で，志教育の『かかわる』『もとめる』『はたす』の3つの視点を基にした教育活動を充実させ，夢や希望をもち，将来に向かってたくましく生きる力を育てていくことを推進して参ります。